



りそなグループ

りそな マーケットフラッシュ デイリー

◆前営業日の相場動向◆

AI投資懸念が再燃、米ハイテク株下落・米金利低下

	10/29	前日比		10/29	前日比		10/29	前日比
日本国債(10年)	2.835%	0.010%	日経平均(円)	64,659.47	705.28	ドル円	157.71	-0.13
独国債(10年)	3.355%	-0.016%	独DAX(pt)	26,039.68	335.66	NY原油	102.00	-0.78
米国債(10年)	4.937%	-0.081%	NYダウ(ドル)	52,342.56	-132.54	NY金	4,031.40	-20.20

【ポイント】

- **日本株は上昇**: 国内半導体関連企業の業績予想の上方修正が好感され、AI・半導体関連株を中心に買いが入った。また、韓国の半導体関連株の下げ幅縮小を受けた先物買いも入り、日経平均は上昇した。
- **米国株は下落**: 米IT大手アルファベットの決算内容が嫌気され、ハイテク株を中心に売りが広がった。AI投資の収益性への懸念も再燃し、主要3指数は揃って下落した。
- **米金利は低下**: 米ハイテク株の急落を受け、安全資産である米国債への買いが優勢となった。米7年債入札の堅調な結果も債券買いを後押しし、10年金利は低下した。
- **ドル円は横ばい**: 米長期金利の低下を受け、日米金利差の縮小を意識した円買い・ドル売りが優勢となった。ただし、日銀の金融政策決定会合を控えた様子見姿勢も強く、ドル円は157円台後半から158円台前半で推移した。

【主な材料】

- 米・7-9月GDP(年率換算): +3.4%(予想: +3.2%、4-6月: +2.2%)
- 米・9月PCE価格指数(前年比): +3.6%(予想: +3.6%、8月: +3.4%)
- アルファベットの7-9月期売上高は市場予想を下回り、株価は一時14%近く下落

◆本日の見通し◆

米ハイテク株安を受け日本株は下落、米金利・ドル円は横ばいを予想

予想レンジ

日本株 ↘ 63,500-64,500

米金利 → 4.90-5.00

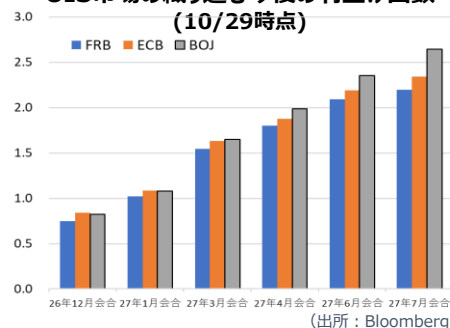
ドル円 → 157.40-158.40

- **日本株**は下落を予想。米ハイテク企業の決算を受けた米国株の下落が国内の半導体関連株にも波及し、日経平均の下押し要因となるだろう。
- **米金利**は横ばいを予想。米GDPの底堅さが意識される一方、前日の米国株安を受けた安全資産需要も残り、小動きとなる展開を想定。
- **ドル円**は横ばいを予想。日銀の政策金利据え置きが見込まれ、植田総裁の会見でも追加利上げに関する新たな示唆は乏しく、もみ合おう。

◆本日の注目ポイント◆

インフレ警戒と金融市場の変調の狭間に立つ日米欧中銀

- 今週は中銀ウィーク。水曜日のFOMC、昨日のECB理事会に続き、本日は日銀の金融政策決定会合が予定されている。これまでの欧米中銀のメッセージに共通するのは、①原油価格の再上昇などを背景にインフレ警戒を維持していること、②AI関連の大型設備投資への懸念から株価が調整するなど、金融環境に引き締まりの兆候が見られること、③追加利上げを急ぐ必要はないものの、早期利下げを検討する段階でもないこと、という慎重な政策姿勢である。
- 本日の日銀会合でも、基本的には同様の姿勢が維持されよう。注目は「基調的な物価上昇率が2%程度に達した」との判断が示されるかどうか。仮に示されれば、物価目標の持続的な達成に向けた進展を意味し、今後の政策運営では物価上振れリスクへの警戒が一段と重視される可能性がある。
- 右図の通り、日米欧では12月の利上げに加え、来年央にかけて1～2回程度の追加利上げが織り込まれている。一方、AI投資への懸念やフランス国債市場の混乱など、金融市場には不安定な動きも広がりつつある。今後の焦点は、こうした金融環境の引き締まりがインフレ抑制に寄与する一方、景気や信用市場に過度な負担を及ぼさないかが焦点となろう。

OIS市場の織り込む今後の利上げ回数
(10/29時点)

◆当面の注目イベント◆

	イベント	注目点
10/30	日銀金融政策決定会合	米国同様、9月に次ぐ連続利上げ観測は後退しているものの、為替動向次第で思惑が高まる可能性。米国で利上げ観測が高まり円安が進行する局面が利上げ観測が高まりやすい。
11/3	米中間選挙	トランプ米大統領の支持率が低下していることから下院は民主党が過半数、上院は非改選議席を含めて共和党が過半数を取ると見られていたが、ここにて民主党が優勢との見方が出てきている。政治的な不透明感は今までも続くなか、焦点は徐々に2年後の米大統領選に移ろう。



りそなグループ

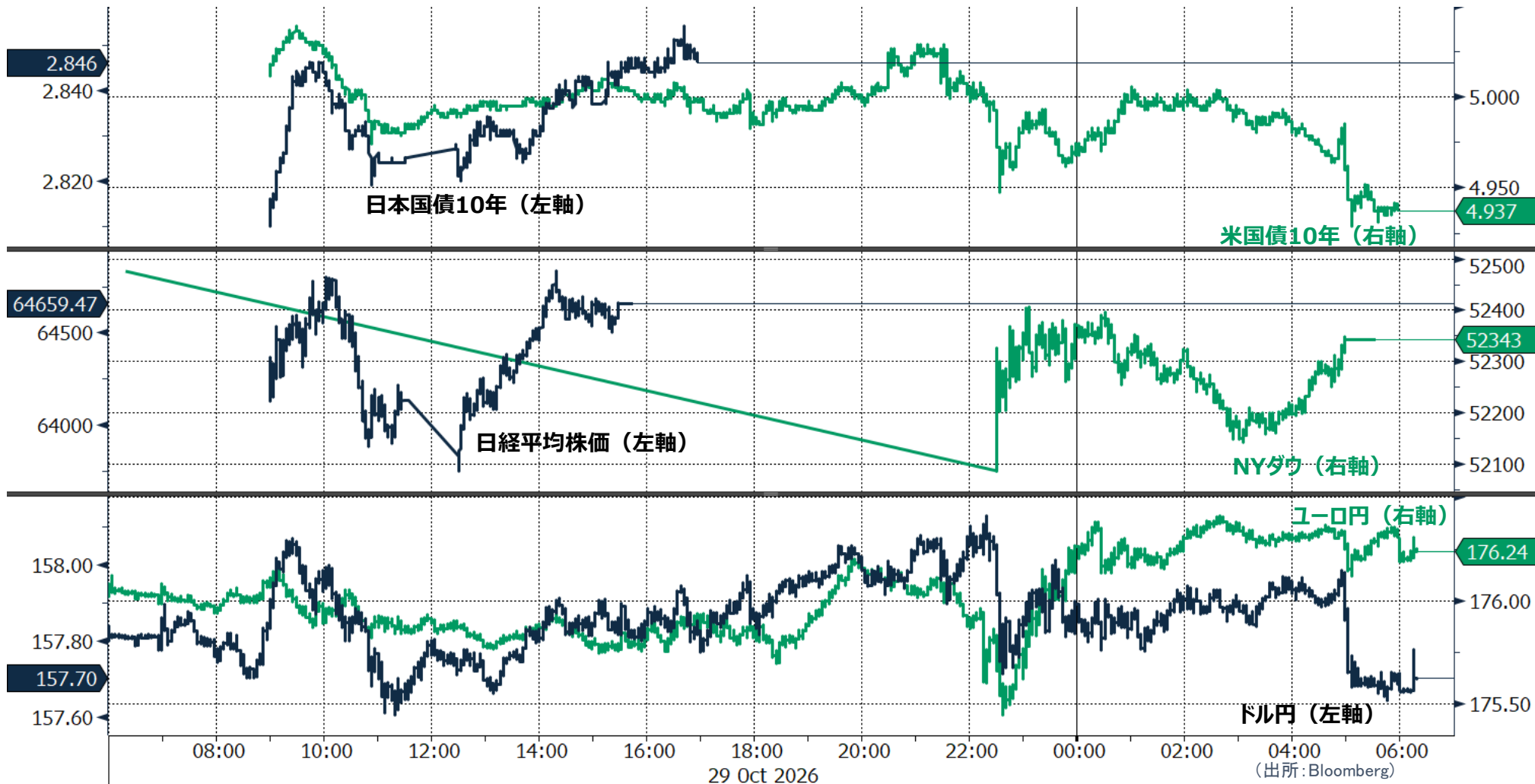
りそな マーケットフラッシュ デイリー

◆前営業日のマーケット動向◆

○TOPIX33業種中 25業種が上昇（値上がり率上位）銀行業＞証券・商品先物取引＞鉱業

○S&P11業種中 8業種が上昇（値上がり率上位）ヘルスケア＞不動産＞生活必需品

○主要通貨強い順 CHF＞GBP＞EUR＞JPY＞CAD＞USD＞AUD



◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい
ると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。



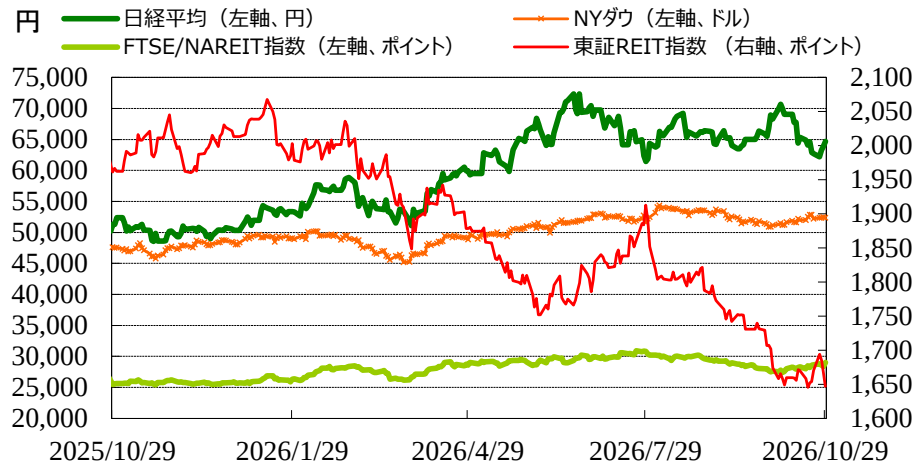
りそなグループ

りそな マーケットフラッシュ デイリー

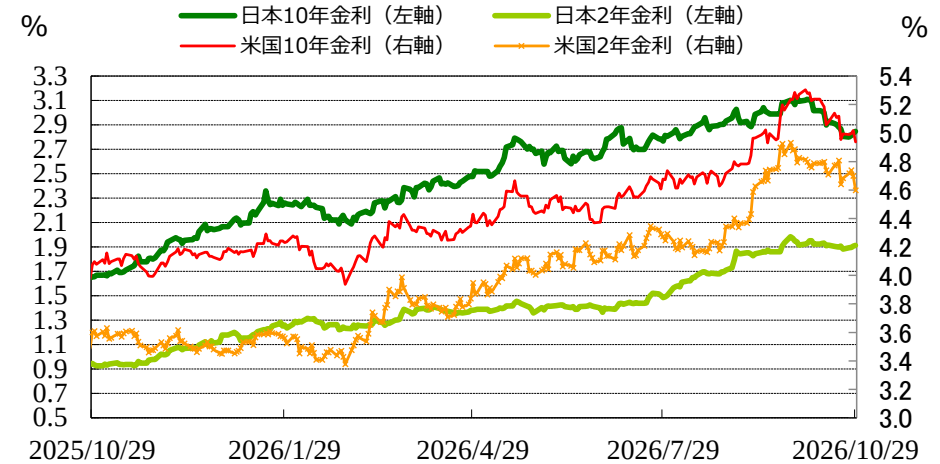
(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

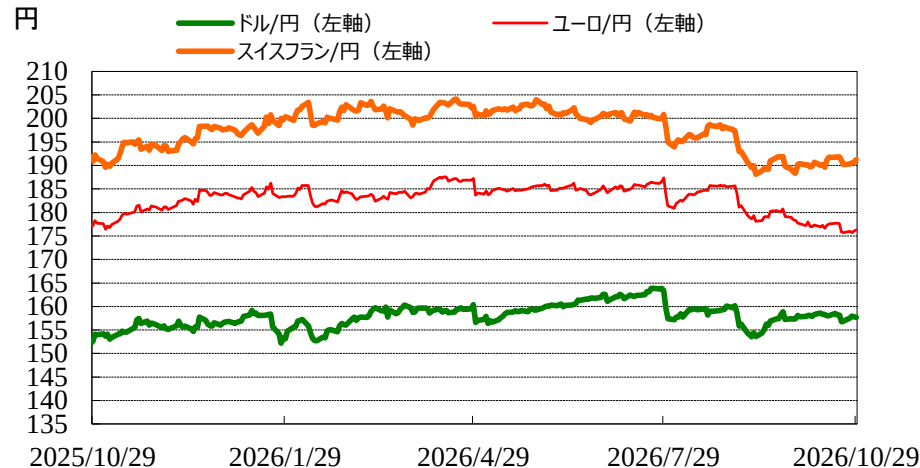
図表1：株式市場（日経平均、NYダウ、東証REIT指数、FTSE/NAREIT指数）



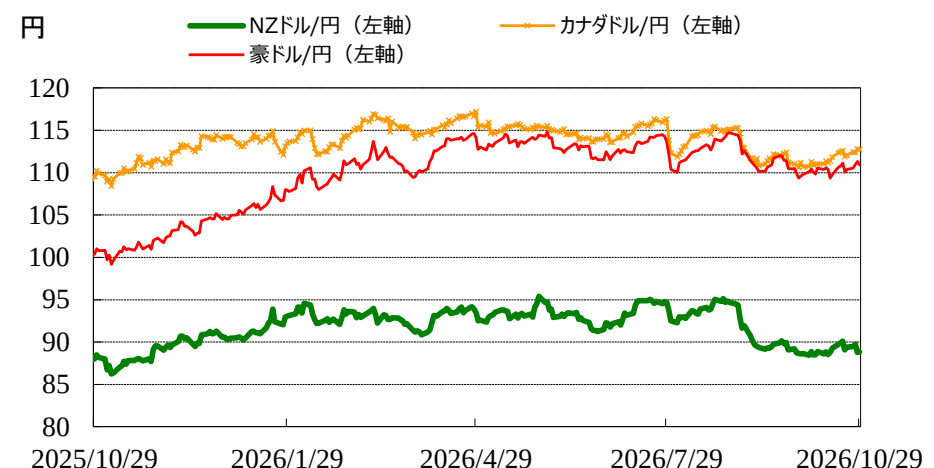
図表2：債券市場（日米2年金利、10年金利）



図表3：為替市場（ドル/円、ユーロ/円、スイスフラン/円）



図表4：為替市場（豪ドル/円、NZドル/円、カナダドル/円）



◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい
ると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。



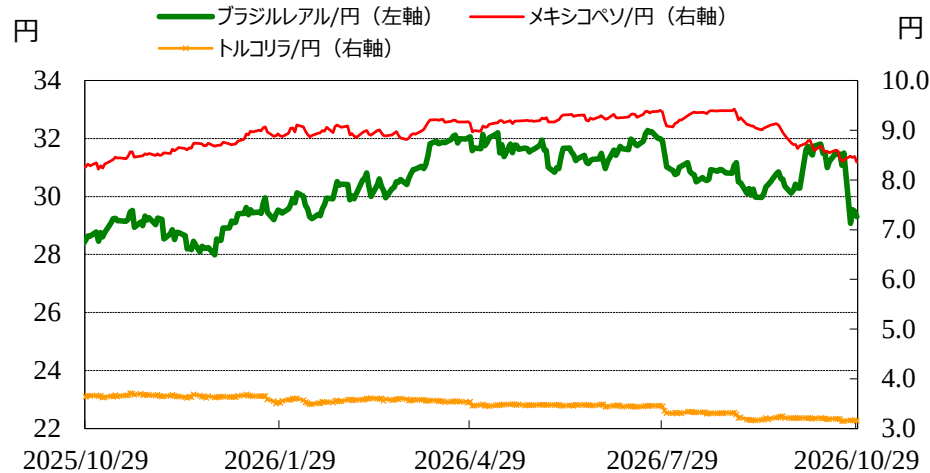
りそなグループ

りそな マーケットフラッシュ デイリー

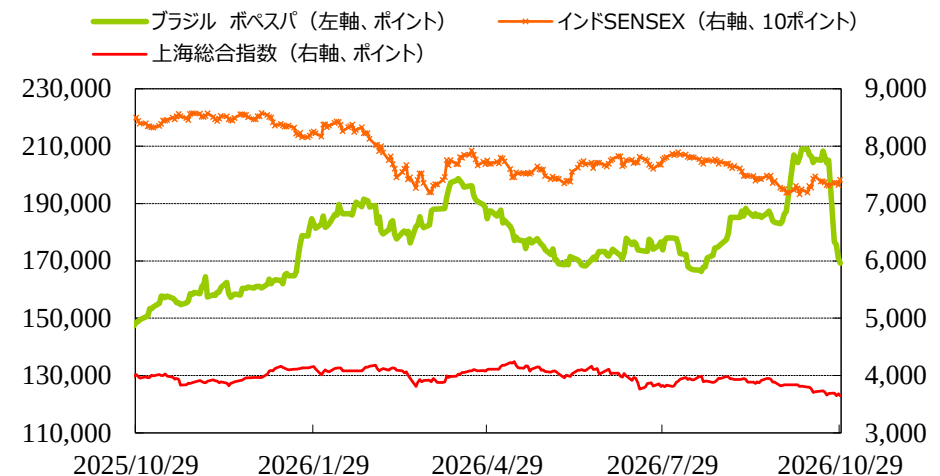
(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

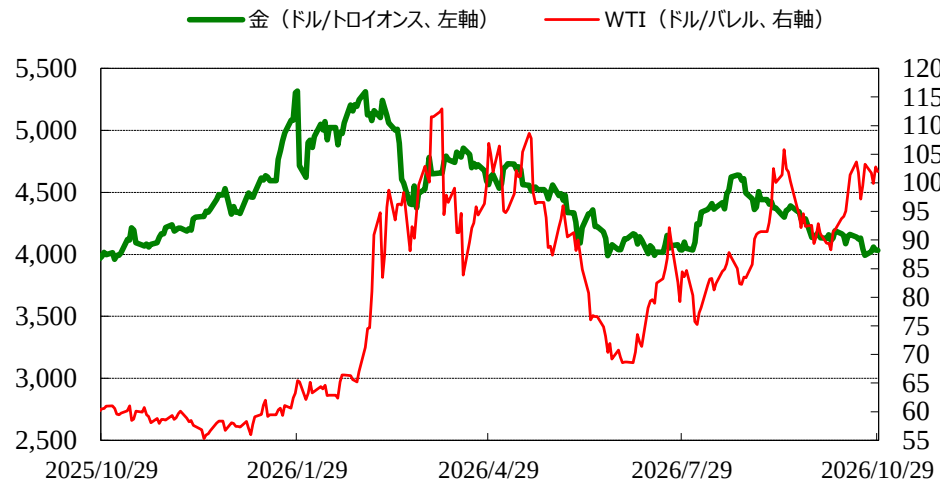
図表5：為替市場（ブラジルレアル/円、メキシコペソ/円、トルコリラ/円）



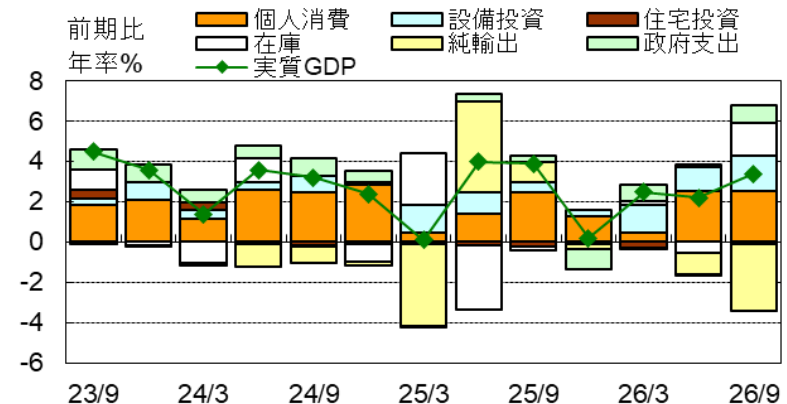
図表6：株式市場（ブラジル株、インド株、中国株）



図表7：商品市場（金・原油）



図表8：米GDP



出所: Bloomberg

米・7-9月GDP：年率換算+3.4%（予想+3.2%、4-6月+2.2%）

(出所：Bloomberg 朝8時時点で公表済みの数値を更新)

○注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい
ると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。